

高橋守 + 北條直彦 + 吉野弘志

sax & flute

piano

contrabass

2017 03月04日(土)

開場 19:00
開演 19:30~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3,500 円 + 2drinks order

CAFE **BEULMANS**

お問合せ : info.cafebeulmans@gmail.com

TEL : 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カフェ・ザ・成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



高橋守

東京都出身。
20歳頃から新宿ピットインなどで演奏を始め、現在は東京、NYを中心に演奏活動を行う。NYではCotton Clubをはじめ、多くのクラブで演奏する。
今までに、フレディー・ハーバード、ルー・ドナルドソン、ジョー・チェンバース、ジェフ・ワッツ、ジョー・デュークスなど数多くのミュージシャン達と演奏やレコーディングをする。ここ数年はドラムのトム・ペーカーとのデュオでの活動を精力的に行なっている。



北條直彦

東京芸術大学卒業。作曲、ジャズ研究、ピアノ、現代音楽からジャズ迄、クロスオーバーな守備範囲を持つ。東京文化会館、草月会館、府中の森芸術劇場でオーケストラ曲、室内楽等が演奏されている。ジャズの研究書としてコンテンポラリージャズピアノ(新主流は以降の現代ジャズ技法)第1巻、第2巻、第3巻、インプロビゼーションとアナリゼ。イントロとエンディングの技法(この二つは稲森康利との共著)、実践コード進行法Ⅰ、Ⅱ。ピアニストとして国際音楽の日フェスティバル、横浜ジャズブロードナード、横浜旭区ジャズフェスティバルでは名ヴィブラホーン奏者デブ・バイク氏と共演。NHKスタジオ505、デジタル放送ミュージックバード他出演多数。CD『ワルツ フォー デビー〜オマー・ジュトウ・ビル・エヴァンス』『コンセプト』『インヴィテーション』等がリリースされている。国際ジャズ教育者協会日本支部常任理事等を歴任。現在、日本音楽舞踊会理事、同公演局長。日本現代音楽協会会員。キーボードラボ主宰。



吉野弘志

1955年広島市生まれ。1975年に東京芸術大学音楽学部器楽科(コントラバス専攻)に入学。在学中より明田川荘之(piano)トリオのメンバーとしてジャズ・クラブに出演するようになる。1980年、坂田明(sax)トリオに参加、翌年には同グループでヨーロッパ・ツアーをおこなう。以後、菅原雅彦、加古隆、山西洋輔、板橋文夫、塩谷哲、などのグループに参加。現在は、ベース・ソロと『彼岸の此岸』(太田恵資(violin)、鬼怒無月(guitar)、吉見征樹(tabla))、『吉野弘志モンゴロイダース・ネオ』(小森慶子(clarinet, sax)、田中信正(piano)、和田啓(req))を活動の中心に、自らの民族楽器としてとらえているウッドベースの可能性を追究すべく『張林(揚琴)とのデュオ』、ウッド奏者・常味裕司の『アラブ音楽アンサンブルFarha』などに参加している。リーダー作品に「泣いたら湖/吉野弘志・モンゴロイダース」(メンバーは林栄一(as)、加藤崇之(g)、小山彰(ds))と、ベース・ソロアルバム「on Bass」、『吉野弘志 彼岸の此岸/Feeling the Other Side』がある。